

授業科目名	人生100年時代論			科目コード	X512-20				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 大学コンソーシアム		担当教員名	小平 達夫					
実務経験									
開講時期	1年夏季集中		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	なし								
授業の概要	「人生100年時代」の到来が叫ばれる昨今において、従来の「教育 就職・仕事 定年・引退」という人生モデルが大きく変容しようとしている。本講座は、富山県に在住する若者が地域の魅力を捉えなおし、多様な生き方に触れ、自らのライフシフトを選択していく機会となる基礎講座と位置付ける。								
学習目標	「食と健康」、「子育てと社会」、「AI時代の働き方」等を切り口に、本学が蓄積する「食と健康」「保育と子育て」「情報と経営」「福祉と介護」に関する教育・研究の実績知を活用し、各講師が専門領域から現状と課題を分析する。また、富山県内で地域おこし協力隊として活動している方を招聘し、ワークショップを開催することで、受講生が「人生100年時代」を豊かに生き抜くための柔軟で多様なライフプランを受講生が構築できるようになることを目指す。								
キーワード	・100年人生 ・セルフキャリア開発 ・多様性 ・ライフシフト								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	キャリア・職業人生を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための方法を身につけている。								
LO-2	キャリア・職業人生を理解し、自分の人生について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための技能を身につけている。								
LO-3	キャリア・職業人生を理解し、地域について自ら考えられる幅広い思考力・判断力・表現力を持ち、実践的な展開や課題解決することが出来る。								
LO-4	キャリア・職業人生について自ら考えようとする意欲があり、自分の人生について主体的に学びを深めることが出来る。								
LO-5	地域社会の一員であることの自覚を持ち、他者を尊重し、協力・協働を図る人間性を有している。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「人生100年時代をイメージする」 幼児教育学科 教授 梅本 恵 自己と他者ととらえる際の一つの重要な要因である「多様な性」を切り口に考えます。	
	【予習】	0分
	【復習】もっと知りたいと思った人には以下の文献をおすすめします。 『LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略』リンダ・グラットン/アンドリュー・スコット著 池村千秋訳 東洋経済新報社 2018 『0才から100才まで学び続けなくてはならない時代を生きる学ぶ人と育てる人のための教科書』落合陽一 小学館 2018	30分
第2回	「食と健康」 食物栄養学科 教授 稗苗 智恵子 生まれた人の半数が105歳まで生きる時代と言われる今、自分の夢や希望を叶え、豊かな人生を過ごすためには、どのような生活習慣が良いのでしょうか。運動、食事、睡眠の中の「食事」と「健康」について講義をします。	
	【予習】自身の食事について、ある1日「朝・昼・夕、間食、夜食など」食べたもの、飲んだものを写真で記録し、改善すべきと思うことは何か考える。	30分
	【復習】レポートを書きましょう。キーワード 「食事」「健康」「時間」	30分
第3回	「子ども・子育て、そして家族を考える」 幼児教育学科 教授 石動 瑞代 自らの子ども時代、これから歩む人生を思い描きながら、子ども・子育ての価値を家族という視点を変えて考えます。	
	【予習】事前課題について、自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】自分にとっての「家族」の意味を振り返り、自らの人生を展望する。	30分
第4回	「人生100年時代における働き方」 経営情報学科 教授 森井泉 仁 内閣府は「人生100年時代の人材と働き方」として「男女ともに年齢によらずに社会で活躍し、自分にあった仕事を長く続けていくことを可能にする多様な働き方を実現していくことが望まれている」としている。この実現に向けた3つの大切なポイントを解説いたします。	
	【予習】各自、下記について考えてください。(インターネットや文献等で調査しても結構です) ・そもそも働く目的は？ ・これからの時代、働くことにおいて要求されることは？	30分
	【復習】本日配布した新聞記事も含めて、授業で提示した「重要事項」について 1. しっかり理解をする 2. 確実に覚える	30分
第5回	「長生きを喜べる長寿社会の実現」 健康福祉学科 教授 中島 眞由美 「長生きを喜べる長寿社会の実現」を目指し、人と人とのつながりや交流、ハタラクことを通して地域共生社会の推進について考えます。	
	【予習】地域包括ケア研究会「2040年：多元的社会における地域包括ケアシステムー「参加」と「協働」でつくる包摂的な社会ー」、三菱UFJリサーチ&コンサルティング、2019年を読んでおくこと	30分
	【復習】授業の資料に目を通し、自分の問題として考え、ノートを整理する。	30分
第6回	「移住という生き方」 外部講師(交渉中) 富山県への移住者より「キャリア・職業人生」「多様な生き方」「価値観」に触れて、「移住」という選択について理解を深めます。(予定)	
	【予習】国、富山県、自分の住んでいる市町村の移住政策について調査してくる。(予定)	30分
	【復習】本日の講師の体験談を基に自分のキャリア・職業人について描いてみる。(予定)	30分
第7回	「セカンドキャリアについて考える」 永井 高志 氏 元 本田技研工業株式会社役員室(海外営業担当) これまでの「キャリア・職業人生」と「これからのキャリア・職業人生」について、富山県ご出身で、海外勤務もご経験され、ご退職後富山県に帰郷され、現在は富山県内の医療法人、社会福祉法人にて勤務されている方の話を聞き、自分たちの「キャリア・職業人生」について考えます。	
	【予習】セカンドキャリア、生産年齢人口、高齢者雇用について調べてくる。	30分
	【復習】本日の講師の体験談を基に自分のキャリア・職業人について描いてみる。	30分
第8回	「これまでの振り返り」 ファシリテーター 富山短期大学健康福祉学科 准教授 小平達夫 1回目から7回目までの講義を基にグループにて自分のキャリア・職業人生について考え、プレゼンを行います。	
	【予習】1回目から7回目までの講義の資料等を熟読し、現在の自分のキャリア・職業人生をデザインしてくる。	30分
	【復習】受講者のプレゼンを基に新たなる気づきなど自分の内面を見つめながら、短期・中期・長期の目標を立ててみる。	30分